
第六 地域保健活動

- 1 保健福祉サービス調整推進会議
- 2 保健師活動
- 3 人材育成
- 4 組織育成(愛育委員会)
- 5 健康危機管理(災害等)

第六 地域保健活動

1 保健福祉サービス調整推進会議

保健・医療・福祉など各分野のニーズを併せもつ対応困難な在宅要支援者(高齢者、結核患者、精神障がい者、難病患者、障がい児等)に対して、適切なサービスを効果的・効率的に提供するとともに、在宅ケアのシステム構築を目指した会議の開催や参加。

令和6年度(単位:回数)

種 別		母子	精神	老人	難病	結核	その他	合計
回 数		72	143	16	40	9	6	286
内 訳	保健課	－	32	5	40	9	3	89
	倉敷保健推進室	35	49	5	－	－	2	91
	児島保健推進室	14	32	4	－	－	－	50
	玉島保健推進室	14	13	－	－	－	－	27
	水島保健推進室	8	14	2	－	－	－	24
	真備保健推進室	1	3	－	－	－	1	5

2 保健師活動

地域の保健福祉サービスの現状と住民のニーズを総合的に検討しながら、保健所政令市として、倉敷市保健所、各保健福祉センター等の保健分野保健師があらゆる健康状態の住民を対象に、予防活動及び地域保健活動を推進している。

(1) 保健師人員及び担当状況

所属名	保健師数	内 訳		地区別	地区別人口 ※年度末人口	一人当り 担当人口
		担当外	地区担当			
保健課	21	5	16	－		
健康づくり課	12	12	－	－		
倉敷保健推進室	23	1	22	倉敷	231,042	10,502
児島保健推進室	11	1	10	児島	63,560	6,356
玉島保健推進室	11	1	10	玉島	70,242	7,024
水島保健推進室	13	1	12	水島	87,013	7,251
真備保健推進室	3	－	3	真備	20,128	6,709
令和6年度計	94	21	73	全市計	471,985	－

※ 保健師数については、分散配置(人事課、健康長寿課、子ども相談センター等)は含まない。

(2) 家庭訪問等指導状況(対象者別被指導人員とその割合)

令和6年度

区分	感染症		結核		精神		心身障害 (児・者)		成人・老人		小児慢性 特定疾病		難病	
	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ
被指導人員	17	17	40	157	650	1,443	74	146	90	120	27	31	57	108
割合 (%)	0.6	0.3	1.3	2.9	21.0	26.7	2.4	2.7	2.9	2.2	0.9	0.6	1.8	2.0

区分	妊産婦		乳児		幼児		児童虐待		その他		計	
	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ	初回	延べ
被指導人員	587	698	931	1,220	306	566	240	784	72	117	3,091	5,407
割合 (%)	19.0	12.9	30.1	22.5	9.9	10.5	7.8	14.5	2.3	2.2	100	100

3 人材育成

(1) 現任教育

対象	研修名・研修内容	実施日	受講人数(人)
新しく保健所に 配属された職員	保健所機能及び業務に関するオリエンテーション	4月15日	33
新任期保健師 (1～3年目)	第1回「みんなで育ちあおう 保健師って楽しい！」	4月30日	8 (1年目4 プリセプター4)
	第2回「母子保健基本のき ～乳幼児の発達を学ぼう～」	6月24日	18 (新任期15 プリセプター3)
	第3回「もっと楽しく！もっと伝わる！健康教育」	10月1日	20 (新任期14 プリセプター4、他2)
	第4回「地域診断から始まる地域づくり・健康づくり ～健幸なまちへ～」	1月27日	19 (新任期14 プリセプター4、他1)
新採用保健師 のプリセプター	・新任期研修の振り返りと次回研修企画 ・1年目のキャリアパスの進捗状況確認・情報交換等	6月4日	3
		9月2日	4
		1月7日	4
中堅前期 保健師	「地域診断とPDCAサイクルを意識した事業計画 立案評価と、地域の健康課題解決に向けた地域ケ アシステムの構築を考える」	9月19日	15

中堅後期・ リーダー期 保健師	「プリセプターによる新任期保健師の特性や強みを 活かした効果的な育成について」 講師:大阪歯科大学 看護学部 看護学科 教授 合田加代子先生	10月25日	34 (中堅後期8 リーダー期26)
リーダー期・ 管理期 保健師	「お互いに学び合い、育ち合うという効果的な職場風 土を醸成するために必要な組織のあり方について」 講師:大阪歯科大学 看護学部 看護学科 教授 合田加代子先生	11月29日	37 (リーダー期25 管理期12)

(2) 学生実習指導

看護師・保健師・栄養士・医師などの専門職を目指す学生に対して、地域住民の健康水準の向上と健康に生活できる環境づくりに努めている保健所・センターの役割を、講義・実践などを通して指導する。

種別 \ 区分	4		5		6	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
保健師学生	3	18	4	20	3	18
栄養士学生	5	30	5	30	5	29
歯科衛生士学生	2	68	2	73	2	61
医学生	1	6	2	17	4	17
看護師学生	1	38	2	50	2	40
中学生	1	2	5	17	5	8

4 組織育成(愛育委員会)

<事業概要>

愛育委員は、胎児期から高齢期までの生涯にわたる健康づくりの推進役として、地域住民の健康づくりのための実践活動をしている。その活動を効果的に促進するために、組織育成の充実・強化を図る。

<対象者>

愛育委員

<内容>

総会・理事会・研修会開催への支援

子育て支援や各種健診受診勧奨、友愛訪問等、様々な分野における組織活動への支援

第六 地域保健活動

<愛育委員数及び理事会・研修会の開催実績>

区分 年度		学区(地区)数	愛育委員数	世帯数	委員1人 あたり世帯数	理事会・研修会	
						回 数	人 数
4		64	3,807	216,756	56.9	1,086 (5)	19,187 (68)
5		62	3,714	218,626	58.9	1,282 (5)	23,030 (65)
6		62	3,649	220,070	60.3	1,105 (5)	21,521 (67)
内 訳	倉敷	19	1,394	105,669	75.8	358	8,052
	児島	12	758	31,105	41.0	210	3,695
	玉島	13	787	31,883	40.5	283	5,644
	水島	11	519	42,594	82.1	186	3,175
	真備	7	191	8,819	46.2	68	955

※ 世帯数は前年度3月31日現在の数、愛育委員数は当該年度4月1日現在の数。

※ ()内の数については、愛育委員会連合会理事会の数。

なお、内訳には()内の数は含まない。

5 健康危機管理(災害等)

<事業概要>

地域における健康危機管理の観点から、地域住民組織及び地域の関係機関とともに、有事に迅速かつ有効な対応ができるような体制の整備を目指すとともに、保健所が健康危機における中核的機関としての役割を十分に果たすことができるように体制整備を行う。

(1) 災害時医療体制の構築

令和6年度

内 容	参加者等
災害時の医療体制を所管する県型保健所との連携・ネットワーク構築に向け継続的に話し合いの場をもった。	備中保健所と市保健所 3回

(2) 住民自助・互助での災害時対応力の向上

令和6年度

内 容	対象者等
減災のための地域づくり等について普及啓発を実施（通年） 災害への平時からの備えに関するチラシの作成・配布や非常持ち出し物品の展示啓発等を行った。	愛育委員会、小地域ケア会議、栄養改善協議会、親子クラブ、自主グループ等 92回 2,365人

(3) 倉敷市保健所対策本部医療保健班としての機能強化

令和6年度

内 容	参加者等
①健康危機管理研修会 ○「R6年1月能登半島地震への保健師等派遣チームの派遣経験の報告及び研修 R6.7.2 講師:能登半島地震派遣職員3名 ○ハザードマップの読み解き方、健康危機時に必須となるクロノロ(経時記録)のポイントに関する研修 R7.1.31 講師:防災推進課職員 日本赤十字社岡山県支部 事業推進課 武久課長 杉山事業係長	○保健所等職員 29名 ○保健所等職員 26名 倉敷市職員 会場1名 オンライン7部署
②倉敷市保健所災害対応訓練 ○保健所災害時初動対応の説明及び訓練 対象:新しく保健所等に配属された職員 ○市防災訓練(風水害・地震)や全市一斉地震対応訓練の想定に合わせ、倉敷市保健所として災害訓練	○保健所職員等 33名 ○保健所職員 112名
③倉敷市保健所 災害時体制検討ワーキング 医療保健班の班毎に訓練を企画実施。倉敷市保健所初動マニュアル・アクションカードの見直しについて検討	③各班(6班)での訓練実施 各班1回以上 検討会議 3回 31名

(4) 熱中症予防・ヒートショック予防

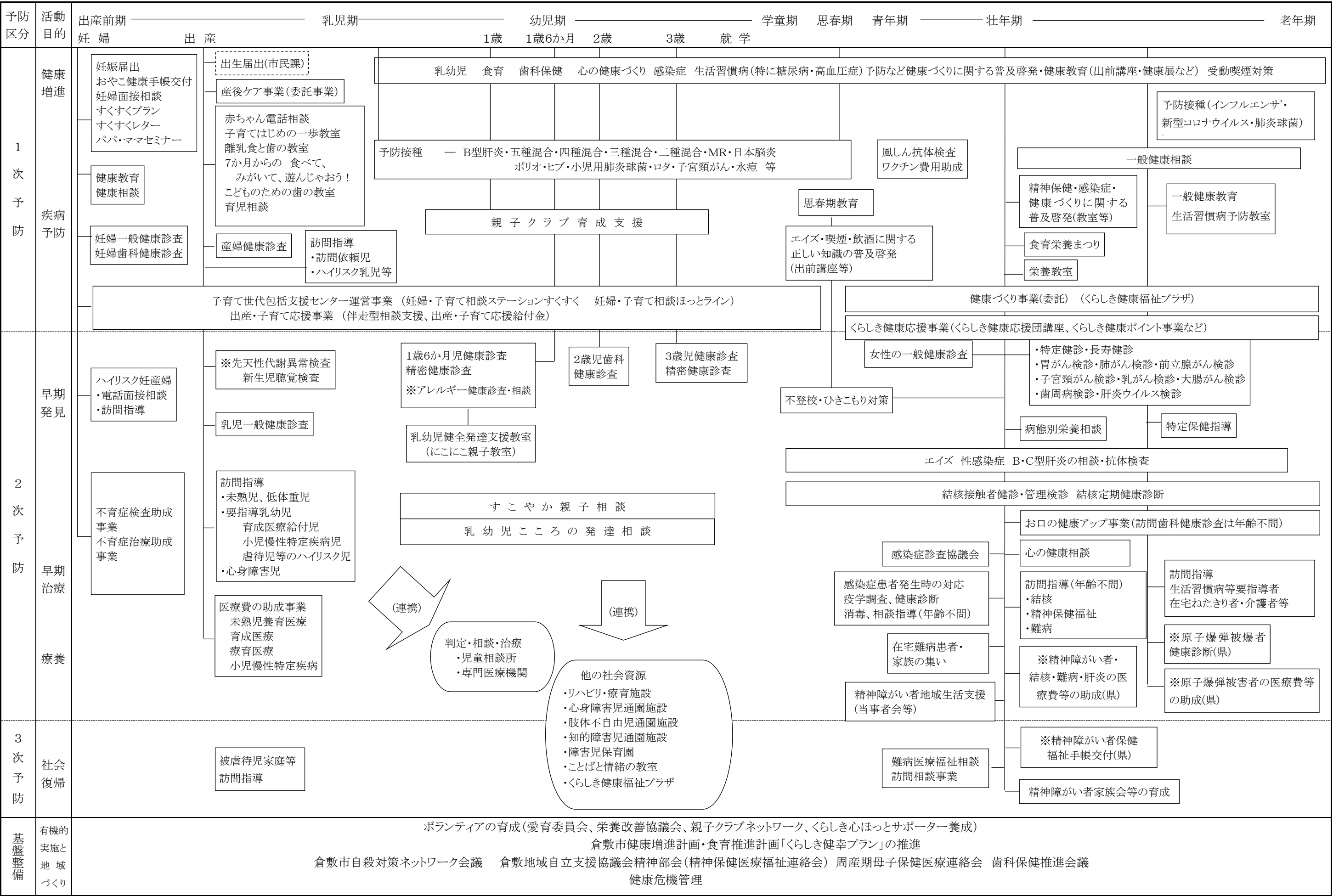
令和6年度

内 容	対象者等
熱中症予防の啓発 Instagram 等の活用	愛育委員会、小地域ケア会議、親子クラブ等 99回 2,138人
ヒートショック予防の啓発	愛育委員会、小地域ケア会議 等 53回 1,207人

(5) 感染症健康危機管理

内 容	参加者等
○感染症健康危機管理研修会 R6.9.27(集合・オンライン) 「新興感染症を想定した備えや対応、健康危機管理における保健所職員の心得」 講師:国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター長 齋藤 智也	○保健所等職員 33名
○感染症健康危機会議及び訓練 「新種のウイルス感染症発生」を想定した机上訓練	○保健所職員 21名

(資料) 保健所における対人保健業務 令和6年度



※は協力事業

